


KeTMath フリック入力 使い方

2022.3.22

C or T : Click (マウスなど) \leftrightarrow Touch (スマホ, タッチパネルなど)
これを合わせないとフリック入力ができない

フリック入力: 各キーを押したまま上下左右に動かして
入力するものをグレーにして離す.

KEY : (今のところ) 小文字 \rightarrow 大文字 \rightarrow ギリシャ文字 \rightarrow 数字


Input ワク

KeTMath 形式で入力されたものが T1 に表示される.

下方のキーで ☐ の位置に入力できる.

<< : ☐ を一番前に

< : ☐ を一つ前に

> : ☐ を一つ後に

>> : ☐ を一番後に

BS : 一つ前を消去

AC : 全部消去

ワク選択時には ☐ は消え, スマホ等のキーボードで普通に入力できる.

// で改行された場合, 次の行は T2 に表示される.

3 行目以降は同じ行間隔で表示される.

Copy : クリップボードにコピーされる. メールなどに貼り付けできる.

File : ファイルに保存できる. (ブラウザによる?)

Paste area ワク

Paste : クリップボードにコピーされているものを貼り付ける.

(ブラウザによる. 許可が必要なこともある)


KeTMath 形式で入力されたものが T3 に表示される.

// で改行された場合, 次の行は T4 に表示される.

3 行目以降は同じ行間隔で表示される.

AC : 全部消去

Change : Input ワクの中身と Paste area ワクの中身が入れ替わる.

Disp : 点の名称表示 \rightarrow 点だけ表示 \rightarrow 点表示なし


MakeSpline : S11, S12, S13, S14 が作られ,
大島スプライン曲線が描かれる. 以降, S21~S24, S31~S34, ...

Number : 操作対象番号を変更
- で点が減る, **+** で点が増える.
Shape で閉曲線にするかが切り替えられる.

Make : P1 と Q1 が作られる. 以降, P2 と Q2, P3 と Q3, ...

Number : 操作対象番号を変更
0 : Input ワクに入力されたものが T1, T2 に表示される.
1 : Input ワクに入力されたものが Q1 に表示される.
- と **+** で P1 の周りの円の大きさを変更.
円の大きさが 0 になると, P1 が消える.
Input ワク内が x の式 か $y = x$ の式 の場合,
更に **-** を押すと, グラフが表示される.
 x の式 はシンデレラの関数として認識されるもの
 $\sin(x)$, $\cos(x)$, $\tan(x)$, $\arcsin(x)$, $\arccos(x)$, $\arctan(x)$,
 $\exp(x)$, $\log(x)$, \sqrt{x} , $\text{abs}(x)$, ...
 $+$ $-$ $*$ $/$ $^$ () が使える
 $\text{if}(x < 0, x^2, \sin(x))$ など可
2 : P2 と Q2 について同様
⋮

Graph : 無し → 軸表示 → ratio → graph
↑

無し と 軸表示 のときは **Number** の右の表示が 操作対象番号
ratio : **-** と **+** で 縮小と拡大
graph : **-** と **+** でグラフの大きさ変更. 点 AX を動かして移動

Data : 点の位置などのデータを Input ワクに書き出す.
Copy してメールなどに貼り付けできる.

Start : ページ再読み込み後, データを Paste area ワク に貼り付けて
Start を押すと再現できる.

おまけ

CSE : Paste area ワクが CindyScript エディターになる.

例 : `connect([T1,T2,T4,T3,T1]);` (シンデレラのコマンド)

例 : `Listplot([T1,T2,T4,T3,T1]);` (KETCindy のコマンド)

例 : T1 の座標を見たいとき (`println(T1);` と書きたいとき)

`JSprintln(T1); realtime=0;` 結果を Input ワクに書き出す.
realtime=0; としているときは, CSE が実行ボタンのような感じ